

令和8年度第1回岩手県庁舎再整備懇話会の議題に対する質問・意見

資料	ページ	該当箇所	御質問・御意見等	対応
資料2	2	施設計画の 「施設計画の知事局棟の 改修計画」 「庁舎規模の算定」 「仮設計画・工程計画」 の報告	第3回目の報告になっているが、考え方だけでも、第2回目に行って欲しい。この考え方によって、大きな影響があるため、方向性は、第2回目に示して欲しい。	御指摘の3項目については、第2回懇話会において、方向性をお示しできるよう、調整を進めます。
資料4	1	2 意見聴取方法 (2) 庁外	協働について、ワークショップは学生、アンケートはNPO、市町村などを対象としているが、これらの振り分けはどのような基準で考えられたものか（特にアンケートとワークショップの区別）	ワークショップは、対話や議論を通じて意見を深掘りし、新たな気づきや発想を引き出すことを目的としており、比較的参加しやすく将来を担う学生を対象としております。 一方、アンケートは、一定の数を対象に幅広く意見を把握することを目的としており、NPOや市町村等を対象としております。
資料4	1	2 意見聴取方法 (2) 庁外	庁外からの意見聴取については、周辺商店街への情報提供や意見聴取があると良いと思います。	庁舎整備に関する庁外からの意見聴取については、特定の地域や団体に偏ることなく、県民全体から幅広く意見を伺うことが重要と認識しています。このため、パブリックコメントの実施などにより、広く県民の皆様へ情報提供を行うとともに、公平性に配慮した形で意見聴取を行っていきます。
資料4	1	庁外ワークショップメンバー（大学生）	これからを担い、また岩手県在住している中高生も対象にして欲しい。大学生は、県内外出身者であり、いろいろな視点はあるが、将来のこと考えると、中高生も対象にした方が、多くの考えが示せると考える。	学生ワークショップについては、大学の夏季休暇期間中の実施を予定していることから、中高生と同時期に実施することは難しいと考えています。一方で、中高生からの意見については子どもモニターアンケートの活用により、幅広く把握します。

令和8年度第1回岩手県庁舎再整備懇話会の議題に対する質問・意見

資料	ページ	該当箇所	御質問・御意見等	対応
資料4	1	職員ワークショップ（本庁舎）	職員ワークショップの対象を本庁舎のみならず、出先メンバーを入れたり、県内の出身地を、盛岡市とそれ以外のメンバーに分けて入れて欲しい。	職員ワークショップの参加者については、県内4振興局からも少なくとも1名ずつ選出するなど、地域バランスにも配慮した人選を行う予定です。
全体		県議会	すべての議題に関わることですが、議会棟の建て替えですので、新庁舎には県議会が入ることが前提となっているかと存じます。昨年度、基本構想策定に当たっては県議会から意見聴取を行うなどして議論を進めてきたかと存じますが、今回の資料には県議会部分の計画策定についての説明がないように思います。本懇話会の守備範囲を明確にしておくという点で、基本計画においては知事部局部分のみの議論でよいのか確認させてください。もしそうであれば、県議会側とどのような役割分担等を行ったのかについてお聞かせください。また、そうでないのであれば、基本計画に向けた県議会の意見聴取方法についてのご説明をお願いいたします。	懇話会においては、行政機能のみならず、議会機能も一体的に議論いただくこととしております。 また、議会機能については、懇話会の議論と並行して、「新議会棟の在り方検討会議」において、県議会から意見聴取をすることとしており、今年度策定の基本計画に向けて、必要な諸室、機能、配置等の検討を行うこととしております。